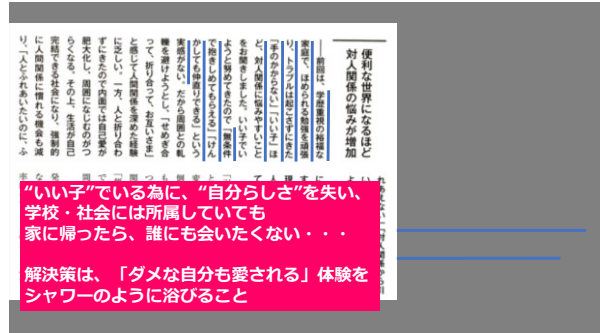




# ソーシャルボンド理論

東京大学出版



# 不登校は「いけない」ことか

誰にでも起こること

東京大学出版



# 理論的な解釈

ソーシャルボンド理論（ハーン）

東京大学出版



# なぜ私たちは犯罪を犯さないのだろう

社会的絆理論（ソーシャルボンド理論）  
ハーン (Hirschi, 1969)

犯罪を

「自分とは異質な頭のおかしい人間がするもの」という観点からの研究ではなく、「状況次第でだれもが関わる可能性のあるもの」という全く逆の発想から犯罪に向き合った。

東京大学出版



# なぜ私たちは犯罪を犯さないのだろう

・性善説  
人間の本性は基本的に善である。（孟子）

・性悪説  
人間の性は悪なり、その善なるものは偽なり。（荀子）

※ウィキペディア参考

学校に通う生徒が普通。不登校・さぼりは異質の生徒がすること。

なぜ学校に来ない？なぜさぼる？

どうして、多くの生徒は学校に通い続けることができるのだろうか。

どうしたら学校に来なくなるだろう？  
どうしたら「頑張りたい・仲間と共に」という気持ちになるだろう？

## ソーシャルボンド理論

- 愛着…attachment  
身近な親しい人に対する愛情や尊敬の気持ち
- 投資…commitment  
合法的な生活の中で積み上げてきたモノ
- 巻き込み…involvement  
犯罪のことなんて考える暇もない
- 信念…belief  
社会のルールや法律などに従うべきだという「信念」

## ソーシャルボンド理論

- 愛着…attachment  
先生や友達から大事にされている。
- 投資…commitment  
生徒の得意なこと・自信となることが評価されている。
- 巻き込み…involvement  
自分が行かないと、〇〇が進まない。役割に組み込まれている。
- 信念…belief  
学校は行くべきだ。

## 不登校をどう理解するか

ソーシャルボンド理論（ハーシ）

東京大志学園

## 不登校現象の理論的な解釈

- ① ソーシャルボンドが切れかかっている
- ② “なぜ来ない？”ではなく、どうしたら社会との絆が太くなるか、という視点で考える
- ③ 一度切れた絆を結びなおすためには、本人が成功体験・絆を感じる体験が必要

## ワーク

東京大志を卒業していった生徒たちは、どのように絆を結んでいったのか

東京大志学園

## 考え共有しよう

- ① 東京大志学園WEBサイト「体験談」を読んで「ソーシャルボンド」を探してみよう。
- ② 自分自身が学校に通い続けた理由を整理してみよう。
- ③ 他のメンバー、職員と共有しよう。

